

ムダのない、かしこく活のある柏原市を作りたい、めざすのは**スマートシティ柏原**

かしわらりょく



無所属 保守派

柏原市議会議員

柏原力UP↑

Vol.15
3年夏号

山口ゆか

@yamaguchi_yuka_

@yamaguchi_yuka_

www.facebook.com/yamaguchiyuka25.4.1

yamaguchiyuka.com

info@yamaguchiyuka.com

072-926-5077

YouTube「柏原市議会」

道路

まちの発展のために

6月議会 会派代表質問

QRコードからYouTubeへ(議会動画)

柏原市の人口は年々減少しています。議員生活8年になろうとしていますが、この間に約4700、平均すると一年に数百の数が減っており、さらに高齢化率は6%増加しています。働く世代の人口増、あるいは商工業の増加で収入増がないと、柏原市の財政状況は良くなりません。きれいごとの政策ではなく、泥臭くとも何とかしてお金を稼がねばなりません。どうすれば人口減少を食い止め、人口増加へと向かえるのか。つまり、柏原市を選んで住み続けてもらうのか。駅が多く交通の便はいいですが、道路整備は市制61年が経っても未だに進みが緩やかです。車社会となって久しくなりますが、市内を走る国道の慢性的な渋滞問題や、大雨や台風などの災害が発生する度に、通行止めとなり道路が機能しません。柏原地区、国分地区ともに東西を貫く有効な幹線道路がありません。スムーズな動線が必要です。それは柏原市のいのちの動線です。これからの柏原市の発展を考える時、まずはハード面の整備が必要であると私は考えます。

広域道路網

- 国道25号バイパス道路 ←国道の脆弱性を強靱にしていける必要がある
市 → 渋滞対策、災害時の緊急輸送道路ネットワークの強化、地域産業や観光振興を図るため期成同盟会で国へ要望していく
- 西名阪道路スマートインターチェンジ ←着実に進めて早期実現を
市 → 企業誘致や地域活性化のため事業採択に向け国へ要望していく
- 田辺旭ヶ丘線 ←用地買収は終わったので道路整備に着手を！
市 → 財政負担軽減のため補助金の活用方法を検討
- 府道大県本郷線延伸

動きだす

3月に大阪府が都市整備中期計画を公表、令和3年度～令和12年度の10年間のうちに国道25号から国道170号区間 → **事業着手**

あきらめず何度も議論し、要望してきた事業が前を向く！



平成31年議会で質問し、結果を十分認識している市長から答弁をいただいている。

順位	項目
1	自然環境
2	公共交通機関
16	公園などの憩いの場
17	道路事情

令和2年度市民意識調査

子どもも大人も憩える場を

国分地区には親水公園や玉手山公園、堅上地区には里山公園、柏原市の真ん中には河川敷公園と大きい公園がありますが、大和川の北側の柏原地区、堅下地区には小さい公園ばかりです。現在、法善寺多目的遊水地の東側はスポーツ広場として上面利用していますが、西側上面を**芝生広場のある緑地公園**とし、新たな公園整備をしてはどうかと議会で質問し、「多目的広場と融合したスポーツと緑と安らぎのある公園の複合施設として検討していく」と積極的な答弁をもらいました。また柏原地区では、柏原西幼稚園の跡地を緑地公園とするなど、今後の大県本郷線延伸も含め、柔軟な用途についての検討を要望しました。

亀の瀬を遊び空間へ

令和2年度に龍田古道と亀の瀬が日本遺産に認定されました。私は、この亀の瀬地すべり地の上面利用について議論しました。市から「大和川河川事務所とともに日本遺産指定を活かし、インフラツーリズムとしてにぎわいの創出につながるよう、今後は地すべり地の建築物の制限などの課題解決や利活用に伴う維持管理面などを確認し、活用方法の検討を進めていきたい」と前向きな答弁をもらいました。



山口ゆかが提案する遊びやアクティビティの空間

モトクロス、マウンテン、オフロードなどの自転車コースバギー、スケボー、トレイルコース、ドローンRVパークで宿泊とセットでBBQなどキャンプグランピング、フィールドアスレチック、ジップライン、ツリーイング、巨大迷路や謎解き、サバイバルゲーム、スラックライン、ゾープ、懸垂下降、セグウェイ、星空ツアー、ホーストレッキングなど

憩いとアクティビティの場の整備

大和川治水対策と青谷運動場

国は、台風被害を受けた国分市場・青谷地区を左右岸バランスよく治水対策事業をすることを目指しています。住民の生命を最優先に守っていただきたいです。また、青谷運動場が治水対策事業の用地として必要となった場合、距離的に近い旧柏原東高校のグラウンドを代替地として継続して使えるよう、大阪府への交渉を要望しました。

介護予防策で心豊かな人生を

市は新たに自身の状態を確認するためのフレイル(心身機能の低下)チェックを送付する事業を始めますが、70歳到達の方に限定されています。もう少し対象者の枠を広げてほしいと要望しました。



養育費の取り決めにかかる法律相談助成

これまで私は、『養育費は子どもが受け取るべきもの』であることを訴えてきました。市は養育費の保証促進補助金や、公正証書作成補助金など、早急な対応をしてくれました。養育費限定の法律相談補助金を創設していただき、支援の3本立てを要望しました。

ICT教育とともに情報モラル教育

1人1台のタブレットPC端末を、児童生徒が家庭に持ち帰る機会が出来たことで、インターネットに関する諸問題に犯されています。児童ポルノ問題もあります。子どもの一生がかかっているため、情報モラル教育の徹底を要望しました。



公園

山口ゆか

※細かいものは省略しています

が取り組んできたものを抜粋

#あひる

道路	東西道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> 大県本郷線 →この先10年のうちに170号線まで事業着手 田辺旭ヶ丘線 ←事業継続を再評価されている。道路整備を国道25号バイパス ←国土強靱化の重要性を国へ訴えよ 西名阪自動車道スマートインターチェンジ ←企業誘致を 				
安全	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全 ←歩道やガードレールの整備で交通弱者を守れ 子どもの安全確保 ←行政・警察・地域が連携して情報共有を AED 設置場所 ←AED がすぐに使える環境の整備 				
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の上下水 ←停電対策の強化を 空家 ←緊急時対応策として予め何らかの取り決めを 避難所 ←避難者向けの運営マニュアル作成促進 情報発信 ←地域ごとに細分化した情報発信を 				
他	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化 →強い柏原にするため地域計画の作成 森林環境の整備 ←森林を整備して付加価値をつける 生産緑地 ←法改正に伴い、農地を市民農園や緑地公園に整備 市立柏原病院 ←市民に望まれる病院を目指して 新婚補助と新生活支援 ←地方から大阪にきて新生活を始め方に柏原を選んでもらう施策を 				
市民の生命と生活	<table border="1"> <tr> <td>教育環境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題 ←いじめの「芽」や「兆候」を見逃さず子どものSOSを受け取る仕組みづくりを 市独自の学力向上 ←成果のあった取組を集約し、柏原版モデルの構築 学力向上モデルの構築を ICT 教育環境の整備 →コロナ禍で国主導により整備が加速 ICT 教育環境に関する課題 ←インターネットの被害から子どもたちを守る対策を 学校トイレの洋式化 →計画立てて整備開始 人権教育 ←命の尊さ、人の生きる権利を道徳を通じて教育を(北朝鮮拉致問題・ウイグル人権弾圧など) </td> </tr> <tr> <td>生活環境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保育士不足問題 ←潜在保育士の掘り起こし、セミナー実施を 不妊治療と不育症助成 ←少子化対策、市独自の支援策を ポイ捨て禁止条例 ←条例があるのだから、コロナ禍の今こそ衛生意識の啓発が重要 コロナによる減収の事業者へ支援策を ←速効性と公平性を担保しながら市独自の支援策を </td> </tr> </table>	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題 ←いじめの「芽」や「兆候」を見逃さず子どものSOSを受け取る仕組みづくりを 市独自の学力向上 ←成果のあった取組を集約し、柏原版モデルの構築 学力向上モデルの構築を ICT 教育環境の整備 →コロナ禍で国主導により整備が加速 ICT 教育環境に関する課題 ←インターネットの被害から子どもたちを守る対策を 学校トイレの洋式化 →計画立てて整備開始 人権教育 ←命の尊さ、人の生きる権利を道徳を通じて教育を(北朝鮮拉致問題・ウイグル人権弾圧など) 	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 保育士不足問題 ←潜在保育士の掘り起こし、セミナー実施を 不妊治療と不育症助成 ←少子化対策、市独自の支援策を ポイ捨て禁止条例 ←条例があるのだから、コロナ禍の今こそ衛生意識の啓発が重要 コロナによる減収の事業者へ支援策を ←速効性と公平性を担保しながら市独自の支援策を
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題 ←いじめの「芽」や「兆候」を見逃さず子どものSOSを受け取る仕組みづくりを 市独自の学力向上 ←成果のあった取組を集約し、柏原版モデルの構築 学力向上モデルの構築を ICT 教育環境の整備 →コロナ禍で国主導により整備が加速 ICT 教育環境に関する課題 ←インターネットの被害から子どもたちを守る対策を 学校トイレの洋式化 →計画立てて整備開始 人権教育 ←命の尊さ、人の生きる権利を道徳を通じて教育を(北朝鮮拉致問題・ウイグル人権弾圧など) 				
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 保育士不足問題 ←潜在保育士の掘り起こし、セミナー実施を 不妊治療と不育症助成 ←少子化対策、市独自の支援策を ポイ捨て禁止条例 ←条例があるのだから、コロナ禍の今こそ衛生意識の啓発が重要 コロナによる減収の事業者へ支援策を ←速効性と公平性を担保しながら市独自の支援策を 				

各議会の質問に関しては議会報告書を作成しており、山口ゆか WEB サイトにアップしていますのでダウンロードしてください。紙面をご希望の方は山口までご連絡ください。

松柏之操

—しよはくのみさお—

9月をもって市議会議員2期目の任期が終わります。市民の皆さまに支えられ、8年の職務を果たせることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

これまでの間、私なりの「けじめ」を貫いてまいりました。私自身、議員になる前は議会で何をやっているか見えないと感じていたので、議会報告書はもろもろのこと、議会報告会やウェブ発信もしてまいりました。そしてこれらの費用は、公金である政務活動費ではなく、議員報酬(平成25年より増額分を全額積立)からまかなってまいりました。

チラシにキヤッチフレーズとして載せたり、公約を掲げるだけではなく、いかに実行するかを重視して取り組んでまいりました。今後も、この想いは揺るぐことはありません。自分なりの『松柏之操』を守り続けていくと改めて覚悟を決めています。

20年30年先の柏原のために、今の私たちに何が出来るのか、何をしておくべきなのかを考え、これからも議会活動に邁進していく所存ですので、皆さまには引き続きのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



山口ゆかが目指す8つの指針

人口	若い世代の流入を増やす施策や、出生率を上げるための動機づけとなる施策で、柏原市の人口増加を目指す。
交通利便性	人口を増加させ快速・急行が停まるまちに。歩道の整備。東西道路が必要。踏切や特定の交差点での慢性的な渋滞改善。
高齢福祉	独居の高齢者の見まもりを充実させる。外出自粛で心身機能の低下が懸念。介護予防を重視していかなければならない。
地域	ひと気の少ない場所、暗い場所に防犯カメラの設置を。子ども会や老人会が減っている。地域コミュニティの必要性。
教育	児童生徒数の実情を鑑みた小中学校の再構築を。基礎学力の徹底指導、勉強のトータル時間を確保させて学力向上へ。
子育て	多世代が憩える緑地公園の整備を目指す。柏原地区にも病児・病後児保育の創設を目指す。
産業	コロナで影響を受けた事業者のための支援策を。計画的に企業を誘致し、雇用の創出を目指す。森林や休耕地の活用。
まちの魅力	面積の多くが山間部だからこそ、山や川の自然を活かして他市から人が訪れる魅力あるまちづくりを目指す。

6月議会で会派「女性超党派りんどう」を代表して登壇しました。新庁舎が完成し、新しい議場での初の議会となり、その場に立つことが出来て大変光栄に思います。この機会をいただきましたことに心から感謝申し上げます。それと同時に、この議会で2期目の任期最後の登壇となりました。この4年間、必要なこと、やれることは力を出し切りました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による公衆衛生、

雲外蒼天

医療ひっ迫の問題、市内商店の苦境、市民の皆さんの生活の変化や厳しさなどの問題が拡がっています。加えて、人口減少、自然環境、道路事情、教育、子育てなど、柏原市が本質的に抱える問題もさらに取り組みでいかねばなりません。雲を突き抜けたその先には、必ず青空がひろがっていると信じ、残りわずかの任期を全力で全うし、これからは柏原市のために尽力していく決意を新たにしています。

市議会議員2期目
無所属(保守系)
堅下小学校、堅下北中学校卒業。
2人の子をもつシングルマザーです。
市議会の会派は「女性超党派りんどう」です。
住まいは上市3丁目
事務所は法善寺にあります。

山口ゆかプロフィール

Twitter
LINE
facebook
Instagram

後援会会員を募集しています
一緒に政策を考える「柏原力UPの会」の会員を募集しています

山口由華後援会

〒582-0005 柏原市法善寺 2-3-23
tel. 072-921-7430 fax. 072-926-5077

発行・編集 山口ゆか事務所 〒582-0007 柏原市上市3丁目10-30 TEL 072-921-7430 討議資料

ウェブサイト・電話・FAX・メールで随時受付中!

Web サイト
http://yamaguchiyuka.com
Eメール
info@yamaguchiyuka.com